



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和5年2月21日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

公立入試まであと少し！一日一日を有意義に。

公立高校一般入試が3月7日(火)に実施されます。これから当日まで、一日一日を大切に今まで以上に気を引き締めて積極的な姿勢で取り組むことが大切です。生活全般についても、新鮮な明るい気持ちで充実した毎日を送るよう努めてください。これからの受験勉強は、とりわけ得点力のアップを主眼にして、より実践的な準備をすることが、合格への近道となります。入試での合格線以上では、わずかな数点で明暗が分かれることを心に刻み込んでください。ほんとうにイージーなケアレスミスが命取りになるので細心の注意が必要です。



今から20年位前、先生が担任の時のことです。こんな例がありました。その生徒は、まず合格するであろうといわれていた高校を受験したのです。理科の試験のことでした。問題用紙の初めから順番に解いて、いつものペースで解答していったのですが、最後になってどういうわけか解答用紙の解答欄が1つ余ってしまうことに気が付いたのです。アレッ!と思ったその生徒は、もう一度解答用紙を見直しました。するととんでもないミスを発見したのです。最後の方の問題で小問を一つ飛ばして解答しており、そこから解答欄を一つずつずらして最後まで記入していたのです。こんなときは誰もあわててしまうものです。終了時間が迫っているときはなおさらです。でも、その生徒は冷静に腕時計を見ました。試験終了15分前。今から書きなおせるかもしれない……と思うと、まず答えを問題用紙に写し、解答用紙は間違えている箇所から後ろを消しゴムで消しはじめたのでした。そして、全部を消し、答えを書き終わったところで、試験終了のチャイムが鳴ったそうです。「鉛筆を置いてください」の試験監督の声で緊張がMAXになったようです。

次の日、その生徒は先生に『先生、理科失敗した。見直しができなかった』と言いました。幸いに、その生徒は志望校に合格し、先生も安心したのでした。

入試では、時には、予想もできないことが起きるものです。また、本番で緊張し、十分に力を出しきれなかったなどのケースも多いのです。この生徒は、第1志望の公立に合格したのでよかったのですが、試験当日には落ち着いて自分の実力を十分に発揮できるよう、実践的な練習を数多く積んでおくことが必要です。

これからの受験勉強は、過去の入試問題について時間を計って実施し、出題傾向に慣れることも大切です。入試日直前の心構えと対策を書いていますので、参考にしてください。

